

地震・台風・・・災害は忘れたころに

総合防災訓練は
9月2日(日)
に実施します



昨年の総合防災訓練の様子

防災週間

9月1日(防災の日)を中心とした8月30日から9月5日までは、「防災週間」です。

土砂災害、地震災害などから身の安全を守るため、普段から災害に対する備えを心がけましょう。

都留市では、「総合防災訓練」を9月2日(日)に実施します。市民の皆さんは、自主防災会、職場などで訓練を実施する場合は積極的に参加してください。

〈メイン会場〉 旭小学校校庭

〈土砂災害から身を守る〉

土砂災害は、次のような現象の直後に起こる可能性があります。直ちに周りの人と安全な場所に避難するとともに、関係機関に連絡してください。

- 山鳴りがする
 - 川の流れが濁り、流木が混ざりはじめ
 - 雨が降り続けているのに川の水位が下がる
 - 小石がバラバラ落ちてくる
 - 沢や井戸水が濁る
 - 斜面から水がふきだす
- 連絡先
- | | |
|---------|------------|
| 都留市役所 | ☎(43) 1111 |
| 都留建設部 | ☎(45) 7815 |
| 都留市消防本部 | ☎(43) 2341 |
- 〈地震災害から身を守る〉
大きな地震が来たときは、次の

ようなことに注意して行動してください。

○まず落ち着いて身の安全を確保する

- ・机やテーブルに身をかくす
- ・非常脱出口を確保する
- ・あわてて外に飛び出さない
- あわてず冷静に火災を防ぐ
- ・地震！すばやく火の始末をする
- ・火が出たらまず消火をする
- 狭い路地、塀きわ、崖や川べりに近寄らない

- 避難のテクニク
- ・避難は徒歩で、持ち物は最小限にとどめる
- ・山崩れ、がけ崩れに注意する
- 正しい情報の入手をする
- ・市役所、消防署などの情報に注意する

- ・テレビ、ラジオの報道に注意する
- ・デマにまどわされない
- ・不要、不急な電話は、かけない
- 協力しあつて救出、救護をする
- ・軽いケガなどの処置は、地域ぐるみで助け合う
- 自動車の運転中は
- ・道路の左側か空地に停車、エンジンを止める
- ・ラジオなどで災害情報を聞く
- ・避難するときは、キーをつけたまま徒歩で非難する

- 「ふだんの対策」
- 被害の未然防止と被害の軽減を図るため、次のことを心がけましょう。

- 防災訓練
- 自主防災会などの防災訓練には積極的に参加し、防災行動力を身につける。

○家庭での防災会議
ふだんから防災について話し合い、次の項目を確認しておく。

- ・家のまわりの危険個所の確認
- ・避難場所、避難経路の確認
- ・家族間の連絡方法、おちあい場所
- ・幼児や高齢者の避難責任者
- ・非常持出袋の点検と置き場所の確認

- ・消火器の使い方と置き場所の確認
- ・家具などの転倒、落下防止対策
- ・家の内外の安全確認
- 家の補強
- 柱、土台、屋根瓦などの点検

- (できれば建物の耐震診断を受けましょう。)をして、強度が不足している箇所は補強する。
- ブロック塀、石塀の補強
- 鉄筋が入っていないものや、転倒防止の控壁を設けてあるか確認し、必要な対応をする。
- 家具などの転倒、落下防止
- トメ金などで固定しておく。
- 消火器などの備え
- 消火器や三角バケツなどを用意しておく。
- 非常持出品の準備
- 避難場所での生活に最低限必要なものを用意しておく
- ・2〜3日分の食料、飲料水などを備蓄しておく



“平和を祈念し黙とうを” 原爆パネル展開催

8月6日(月)及び9日(木)は、原爆の日です。
都留市は、昭和57年10月市議会の議決を経て、人類永遠の平和を樹立するため、非核三原則の完全実施を願い、核兵器の全面廃絶と軍備縮小を求め、「核兵器廃絶平和都市」を宣言しています。
戦争死没者の冥福を祈り、世界の恒久平和を祈念して、次の事業を行います。

○原爆パネル展	○平和祈念の黙とう【防災無線で呼びかけます】		
文化会館1階ロビー	広島原爆の日	長崎原爆の日	終戦の日
8月4日(土)～15日(水)	8月6日(月)	8月9日(木)	8月15日(水)
午前8時30分～午後5時	午前8時15分	午前11時2分	正午